

# 障がい者の就労支援や生活訓練を充実させる 福祉事業所の'食と農に関する取り組み'

○ 片山 千栄、石田 憲治 (元 農業·食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門)



### 1 はじめに ~背景とねらい~

- ・「農業と福祉の連携」の取り組みが増加、定着、多様化
  - ・「農福連携の取り組み」のメディア報道増加
  - ・「農福連携等応援コンソーシアム」の設立(R2.3)、 省庁横断組織の実現
- ・持続的な農福連携に重要な3つの柱
  - ・①生産現場での取組実践(協働と役割分担)
  - ・②地域コミュニティとの関係づくり(顔の見える地域の一員)
  - ・ ③安心な生産物を食する機会(地産地消が導く共生社会)



・本報告のねらい

農作業への着目を'食と農に関する取り組み'として広くとらえる 誰にも身近な障がい者就労支援の方法として内容を一層充実 福祉事業所の社会的活動を見える化(「H28社会福祉法改正」理念実現) 農作業に取り組む就労支援事業所等への訪問聞き取り調査

➡ 物的・人的両側面から地域の資源活用との関わりを含めて考察



# 2 食育に着目した福祉事業所における 障がい者支援 ~本報告の着目点~

・本報告の着目点 ➡ 福祉事業所の'食と農に関する取り組み'

(栽培する、加工する、販売する、調理する、食べる、話題にする)

- 一連の生産活動過程、収穫物の利用
- ・収穫物を利用者と職員らで食べる機会(実感は達成感に)
- 特徴ある地域食材が地域の食文化との関わりをクローズアップ

'食と農に関する取り組み'を通した就労支援は「食育」の要素を含み、食育の取り組みツールを援用できる 食育とは あらゆる機会を通して、食に関する 理解を深めること (食育基本法参照)

- 食育の効用が就労支援や生活訓練でも発現することが期待でき
  - 作物栽培から収穫に至る農業生産活動や収穫物の喫食行動を体験
  - ・障がい者就労支援・・・利用者と支援者の 学びの場 と位置づけ
    - → 障がい者の生活訓練、社会参加、地域における経済的自立にも つながりうることを検証



# 3 食と農に関する取り組み 事例(1)・事例(2)

### 障害者支援施設N (社福·岡山県所在)

- 入所施設のほか、就労支援、生活介 護など幅広く運営
- 農作業:遊休農地を活用、米、露地 野菜などの栽培 <sub>栽培する 加工する</sub>
- 米(給食)、野菜(弁当素材·直売)
- ・希少な地域食材を活用した取組
  - 地域特産の千両ナス、イモ
    - 10月十五
  - 地域住民とレシピや農業史の学習
  - ⇒地域農業や福祉施設の活動理解
- 手間のかかる作物栽培が就労の場 ⇒栽培の継続で地域の食文化の維持



### B型事業所D(NPO·岡山県所在)

- ・親族の農地を引き継いで未経験の農 作業を就労支援サービスに取入れ、 周辺農家の助言を得て実践
- 大豆・野菜の栽培、大豆茶加工、事業所での食材 食べる 加工する
- ・青大豆栽培(近隣福祉事業所の依頼 で事業所間連携) 販売する
- ・高齢者施設の給食用野菜の提供
- ・地縁の中で'食と農に関する取り組み'を充実(地域の食材供給を担う)





### 3 食と農に関する取り組み 事例(3)・事例(5)

#### B型事業所W(社福·岡山県所在)

- 小規模ながら大豆、野菜栽培から加工、販売まで一連の生産活動 <sup>栽培する</sup>
- 地域の営農組織と連携/農家が農 機による耕うん作業を実施
- 有機野菜・大豆の栽培、乾燥野菜や豆腐、きなこ等への加工材料 加工する 販売する
- 野菜や加工品は地域の農産物直売 所で販売、店頭搬入は買物客との会 話機会/利用者は喫食で確認した 美味しさを自信を持って説明
- ・事業所の'食と農に関する取り組み' が地域での信頼、存在感に



#### B型事業所M(NPO·千葉県所在)

#### 栽培する

- 遊休農地での畑作業、空店舗活用の 事務所での製麺作業で就労支援
- 有機野菜と麺は、同法人のもう一つの就労支援拠点・カフェの食材 加工する
- 住宅街にある事務所は、麺や野菜の 直売所 兼 高齢住民が集うサロン、 消費者への情報発信拠点、高齢・障 がい者らの相互交流の場 販売する
- 自然なかたちでの見守りや応援、障 がい者理解促進の役割を担う。

  話題にする

食べる

• 「食」を通して、福祉施設単独での支援限界を超えた地域の福祉サービスの充実や住みやすさにつながる





# 3 食と農に関する取り組み 事例(4)

牧場∪(株式会社•奈良県所在)

- ・ 曾祖父の代から乳牛を飼育する農家
- 長年にわたる知的障がい者就労の実績
- ・仕事内容 牛の世話、搾乳、牛乳の瓶詰、配達などを分担。併設レストランや販売部門では接客。

飼養する

加工する

販売する

- 野菜農家とは堆肥を通じた交流が長く継続。地域内での耕畜連携が成立していることで障がい者の社会参加を後押し。 話題にする
- ・配達、接客などで消費者と接する機会も多い。
- ・畜産分野での機械化が進む中、人手をかける飼育 方法は、動物に触れて育てる障がい者にとって精神的な面での効果も指摘される。
- 観光客も多い土地柄で牧場見学者らとの交流も仕事に対する責任感の醸成に寄与している。



# NIVR

# 3 食と農に関する取り組み 事例(6)

地域活動支援センター Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型

- 地域活動支援センターでの生産活動
  - 利用者の事情や希望に合わせた活動
  - ・農作業との高い親和性がうかがえる (他市町村からの通所者)





### I型·群馬県所在

- イモの栽培、病院の畑 を共用 栽培する
- 収穫時に地域ボラン ティアを招き試食会

#### 食べる

話題にする

·調理実習は生活自立 訓練の一環

調理する

### Ⅱ型•山梨県所在

- 遊休農地で野菜等を 栽培 栽培する
- ・地域の保育所向け弁当の材料に
- ・提供先の存在は作業継続の動機と励みに

話題にする

販売する

#### Ⅲ型•群馬県所在

- ■野菜を栽培 栽培する
- 利用者らが楽しみながら試食

食べる

・その上で高齢者施設へ販売に出向く

話題にする

販売する

# NIVR

### 4 おわりに ~考察とまとめ~

### (1) 一連の農業生産活動と生産物喫食

農作業の継続的な取り組みがある福祉事業所で確認された活動

#### 一連の生産活動過程への関わり

・・・栽培のみにとどまらず、収穫物の農産加工、弁当や飲食店での食材としての利用、直売所や就労支援の飲食店等での販売・接客など

**喫食の機会・・・**生産物を事業所の 利用者や職員が自ら試食、給食、家 族や地域の支援者との共食

#### 遊休農地や空き店舗の活用

・・・地域資源を有効に利用

#### 地域の食文化の再認識

・・・・人手のかかる特徴ある地域食材の 生産や復活

#### 地産地消の実現

・・・保育所や高齢者施設への給食食材提供および消費者の購買行動を促す

### (2) 地域資源の活用と就労支援の充実(食育の効用)

食育による→

食に関する様々な 体験活動 伝統的な 食文化の顕在化 農山漁村の活性化と 食料自給率の向上への貢献

- 福祉事業所の取り組む農作業は、利用者の健康維持や雇用機会と経済自立への支援ツール
- 地域の農業者の技術や豊富な経験、住民らの人的資源を活用
- 消費者との交流を通した社会参加機会の拡大
- 食育の効用が、就労支援による自立を促進
- ・ 遊休農地の活用、地域農家への農作業労力の提供、地域住民との交流による地域社会の活力向上

福祉事業所の支援サービスのメニュー選択

'食と農に関する取り組み'の採用

地域社会との関係を築く、地域の一員となる

食育の側面からも有意義な 活動の展開 地域の理解 協力 就労支援や生活訓練の内容を充実させる可能性向上

支援される側も地域に役割発揮、達成感